

【三者対談】

牧野利昭×桑原靖×赤嶺真吾

前半戦の戦いを語る

まず、前期を振り返っていかげでしたか。牧野 悪い状況下の中で勝ちきれなかったという試合がいくつもあったんで、そういうところを勝てれば、もっと最後首位争いももっと楽になっただろうし、もう少し次に繋げられたのかなって思います。

桑原 結果だけみれば、前期1位っていうところで良かったと思うんですけど、内容見ればまだまだです。開幕戦勝てたんですけど、その後上手くいかない試合が2節3節出て、悪い中でもみんながそこで切り替えてしつかりやらなきゃいけないっていう意識を持たなかったから、内容は良くなかったんですけど、終わってみて1位だったっていうのは、みんなの頑張りも評価できると思います。2節3節の悪い試合を上手く利用して、少しは変えられたっていうのが前期は良かったと思います。

赤嶺 前期の始め、勝てる試合を落としたり引き分けであったり、そういう流れを切り替えて連勝することもできて、最後は得失点差の勝負で連良く1位にはなれましたけど、勝てる試合をしつかり勝つとか、決めるところで決めるとか、そういうところをしつかりしていけば楽な展開にもなったと思うんで、そこを後期の課題として練習してきて、後期ではそこを生かせるようにしていけたら良いと思います。

開幕戦は久しぶりの白星スタートになったわけですが、試合前気負いのようなものはありましたか。

牧野 僕が入ってから開幕勝ってなかったんで、ジンスミみたいなものがあつたから自分の代で負けたらどうしようとか、不安はありましたけど、逆にその反面自分たちの代だからこそ勝ちたいみたいな、やってやるっていう気持ちの方が大きかったですね。

赤嶺 開幕戦に関しては、昨年とさほどメンバーも変わってないんで、自分たちのサッカーをするということだけだったんで、結果として勝てたことは良かったと思います。

桑原 真吾も言ったけど、いくらメンバーが変わってもサッカーは変わらないんで駒澤のサッカーをやるだけ。初戦は今後の試合にも重要になってくるから、そ

れだけみんなの意識も高かったと思うし、勝てたことは大きかったと思います。しかし、第2節法大戦では1、2で負けてしまいました。あの試合を振り返ってみていかがですか。

牧野 早い段階で悪い噂が出てきて、そういう意味で修正が早くできた、負けたっていうのはしつかり受け止めなければいけないけれど、負けて次に成長できた試合だったと思います。

では、第3節の順大戦(2、2)での引き分けも成長に繋がる試合だったということになりますか。

牧野 あれば勝たなきゃいけない試合だったから、それで引き分けまで持ったから、それでは法大戦とは違った意味で危機感みたいなものがあつたから本当にみんなでやらなきゃいけないって

インタビュー 伊藤優香
写真 野澤俊介

